



連合わかやま

日本労働組合総連合会
和歌山県連合会
〒640-8317
和歌山市北出島1丁目5-46
TEL (073) 436-0501
FAX (073) 436-5226
発行責任者 濱地 正由

「第91回メーデー和歌山県中央集会」等を中止

【開催中止の経緯】

「第91回メーデー」は、当初「和歌山県中央集会」をはじめとする、県内5カ所において、例年並の規模での開催を予定していましたが、「新型コロナウイルス感染症」の拡大により、中央集会については規模を縮小し、中央式典のみを開催することとし、その他の各地域協議会が開催する集会についても、全て中止することと致しました。

しかし、その後のさらなる感染拡大並びに7都府県に対する「緊急事態宣言」の発出を受け、予定していた中央式典についても、開催中止の判断をさせて頂きました。



▲昨年開催した「第90回メーデー和歌山県中央集会」の様子

【「第91回和歌山県メーデー」の取り扱い】

本メーデーについては、「第91回和歌山県メーデー宣言(案)」を本紙に掲載し、構成組織の皆様が発信することにより、宣言の採択を行ったものとし、これをもって「第91回和歌山県メーデー」の実施に代えることと致します。

なお、「第91回和歌山県メーデー宣言(案)」については、本紙9ページに掲載していますので確認願います。

【新聞折り込みの実施】

上記のとおり、中央集会は中止としましたが、「新型コロナウイルス感染症」が拡大しているこのような状況だからこそ、連合和歌山として、この危機を乗り越えるためのメッセージ発信が必要であると考え、4月26日(日)に新聞折り込みを実施しますのでご覧下さい。

なお、新聞折り込みの内容については、本紙10ページに掲載しています。

実行委員長 挨拶

第 91 回メーデー和歌山県中央実行委員会

実行委員長

連合和歌山 会長 池田 祐輔



この度、「新型コロナウイルス感染症」に罹患された皆様とご家族にお見舞いを申し上げますと共に、亡くなられた方々に対し衷心よりご冥福を申し上げます。

連合和歌山は、「第 91 回メーデー和歌山県中央集会」を、本日 4 月 26 日に例年通りの規模で開催する予定としていましたが、「新型コロナウイルス感染症」拡大の影響により、中止という判断をさせて頂きました。

今回は、日本で初めて「労働者の祭典メーデー」が開催されて、100 年という節目の年ということも重なり、苦渋の決断を迫られました。欧米を中心に世界規模で感染が拡大し、日本においても「緊急事態宣言」が発出されるなど、国を挙げて感染拡大防止に取り組む中、今こそ働く仲間が心を一つに合わせ、「大切な人の命を守るための行動」を実践しなければなりません。

この様な状況のもと、現在も多くの方が罹患され苦しんでいらっしゃいますし、そんな方々を一人でも多く救済すべく、最前線で必死に頑張っている、医療関係の皆さんや保健所・行政関係の方など、それぞれの立場でご尽力頂いている多くの方々に、心から感謝とエールを送りたいと思います。

そして、こういった方々の負担を少しでも和らげる為に、今わたし達にできることは何なのか、或いは、国や行政に対して言いたいことや不満はあるものの、今わたし達がやるべきことは何なのか、それは自らがコロナに感染しないための対策を、徹底的に実践する以外にありません。まずは、全ての働く仲間の安心と安全を取り戻すための努力を全力でやり遂げましょう。

一方、この様な状況下において、我が国のエコノミーは大きな混乱に陥り、経済情勢の急速な悪化が雇用環境を一変させると同時に、会社都合による解雇や雇止め・派遣切りといった、労働者の切り捨てが当たり前のごとく横行し、社会不安や生活不安が高まるばかりで、受け入れがたい時局に陥っています。

こういった事態を鑑みれば、現在の政府の対応はとても容認できるものではなく、可及的速やかに「困っている人」や「社会的弱者」を救済するための手立てを講じなければ、取り返しのつかない局面に遭遇することを、強く社会に訴える必要があります。

連合和歌山は、引き続き「新型コロナウイルス感染症」の早期終息と、全ての働く仲間の安心・安全確保に向けて、全力で取り組みを展開して参ります。

結びにあたり、全ての働く仲間が心を一つに合わせ、自覚と責任のある行動を実践することで、「コロナショック」という国難を乗り越え、来年のメーデーが無事に開催出来る事を祈念し、「第 91 回メーデー」にあたっての挨拶とさせて頂きます。

共に頑張りましょう！

和歌山県知事

仁坂 吉伸 様



連合和歌山の皆様には、平素から県政推進に御支援・御協力をいただき厚く御礼申し上げます。また、日本のメーデーが今年で100年目となる大きな節目を迎えておられますことは、皆様の弛まぬ熱意ある活動の賜物と深く敬意を表します。

メーデーの始まりは、1886年に米国の労働団体が労働環境の改善を求めて大規模なストライキを起こしたことがきっかけで、その後、世界中に広がる中、日本では1920年に始められています。働く方の声を広く社会に届ける機会として多くの方が結集され、お互いをねぎらい、たたえ合うとともに、御家族や地域の皆様も参加される非常に意義深い労働者の祭典です。本年の第91回メーデー和歌山県中央集会を楽しみにされている方々も多かったことと思います。

この度、連合和歌山におかれましては、地域における新型コロナウイルスの感染拡大の防止と参加者の安全性を最優先に考えられ、歴史あるメーデー集会の自粛を決定されました。皆様の理解ある対応に感謝申し上げます。

県といたしましても、この感染症に対し、和歌山県特有の早期発見と早期隔離と徹底ヒアリングにより、感染拡大の抑え込みに取り組んでいるところです。

そして、県民の安全を守ることを第一に考え、政府の発出した緊急事態宣言を受けて、「県民の皆様へのお願い」を発表し、事業者の皆様にも「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の「3つの密」が重ならないような環境整備やテレワークの積極的な導入・活用など、感染拡大防止の徹底に万全を期していただくようお願いしたところです。

また、県内経済活動への影響を最小限に食い止めるとともに雇用の維持継続を図るため、全国に先駆けた県制度融資の要件緩和や県内事業者への相談窓口の設置をはじめ、国、県等の施策を総動員し、この難局を乗り切るため全身全霊で取り組んでいます。

一方で、新産業の創出や若者の県内就職の促進など将来を見据えた産業政策にも果敢に取り組み、皆様が暮らして良かったと思える故郷和歌山を創造して参りたいと思っています。

今後も、皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止に御理解・御協力を賜るとともに、働く者の立場から様々な御意見をいただき、県政運営に御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、連合和歌山が今後一層連帯を強められ、益々御発展いただくとともに、組合員の皆様の御健勝、御多幸を祈念しまして、メッセージといたします。

和歌山市長

尾花 正啓 様



第 91 回メーデーを迎え連合和歌山に集う皆様、誠におめでとうございます。例年の様相と違ったメーデーとなり、皆様方に直接お会いできないのが残念であります。

また、平素は連合和歌山をはじめ各労働組合関係者の皆様方には、市政の推進に格別のご理解・ご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げますとともに、労働者の課題解決に向け、様々な活動に精力的に取り組まれておりますことに、心から敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスの感染症が拡大し、社会生活に多大なる影響が及んでいます。内閣府による 3 月の月例経済報告では、「新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。」とされ、先行きについては、「感染症の影響による厳しい状況は続くと思込まれる。」と発表されています。

本市においても、緊急事態宣言が発出されたことに伴い、市主催イベント等の中止や延期、和歌山市立学校の臨時休業、大都市への外出自粛や他者との接触機会の減少をお願いするなど、感染拡大防止に向けて取り組んでいます。こうした中、経済などへの影響は大きく、その対策が急務となっており、「新型コロナウイルス感染症経済対策本部」を設置し、国の動向を注視しながら、市独自の支援策を速やかに実施してまいります。

これから先、今まで経験したことのない事態が次々起こってくるかもしれません。こういうときこそ、お互いに助け合って協力し合うことが重要です。見えない脅威からの被害を最小限に食い止めるため、必要な措置を講じてまいりますので、皆様方には、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、連合和歌山の今後ますますのご発展と、組合員の皆様方のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

国民民主党和歌山県総支部連合会

代表

衆議院議員 岸本 周平 様



連合和歌山に集う皆様、第91回を迎えるミーデーおめでとうございます。

新型コロナウイルスが欧米で感染爆発を起こし、世界経済は大きな混乱に陥っています。日本でも、緊急事態宣言が出され、リーマンショックや東日本大震災を超える経済危機が予想されます。感染爆発しないように私たちが自粛要請を守り、新型コロナウイルスを抑え込んでいくしかありません。そのこと自体が最大の景気対策となります。

しかし、まずは、人為的な消費抑制策により被害を受ける企業や働く人々を助けなければなりません。会社が倒産したり、事業ができなくなってしまうと元も子もありません。資金繰りが困難な企業や個人に必要な資金を重点的に支援すべきです。景気対策という発想ではなく、社会的弱者の生活と命を守ることを最優先に考えるべきです。その後、国民心理の安定化を図るためにも、大規模な経済対策が必要です。

一方で、「今、そこにある危機」に対応した後は、これまでと同じような景気浮揚対策を取るべきではありません。14世紀末のペスト、大航海時代の天然痘やはしか、19世紀のコレラなどの感染症が流行した後、社会のあり方が大きく変わりました。今回のコロナショックも、私たちの社会や経済のあり方を変えるはずですが。

強欲な資本主義の下、実体経済と離れたマネーゲームの結果、日本ではマイナス金利や日銀による株の買い支えまで許してしまいました。非正規社員を増やすなど人件費コストダウンによる利益を株主配当と自己株取得に回し、内部留保をため込む経営の問題点もあからさまになりました。

グローバル経済の光と闇も明らかになりました。中国経済への過度な依存は製造業や観光サービス業もリスクにさらします。また、インターネット会議システムなどによりテレワークの可能性が示されました。諸外国に比べて、インターネット授業や遠隔医療の遅れも明らかになりましたから、日本国内でも働き方や生活面でのIT化を進めるべきです。

元気を出して、コロナショック後の新たな世界を構想しようではありませんか。気候変動にも対応した持続可能な労働環境や、個人の生活の見直しによって、連合のかかげる、ワーク・ライフ・バランス社会の実現を早めることができると確信します。

連合和歌山の皆様の益々のご発展をお祈りし、連帯のメッセージといたします。

立憲民主党和歌山県連合代表

県議会議員 谷口 和樹 様



メーデー100年の節目の年。

例年であれば、子ども達の笑顔や笑い声、労働の中での安らぎとともにみなさんの笑顔があふれるメーデー中央集会ではございますが、この度、日本中で蔓延している新型コロナウイルス対策のため、ご開催が中止となりましたこと、誠に残念でなりません。

しかしながら、このご英断をされた池田会長をはじめ連合和歌山の皆様のご決断に心から敬意を表します。

皆様をはじめ労働者を取り巻く環境の変化は、今年になりより一層厳しくなってきていると感じます。

また、新型コロナウイルス対策について、政府の対策が万全とは言えない中、最もその影響を受ける働く仲間たち。

その仲間たちの声をしっかりと政策に転換し、発展させてゆくのが我々立憲民主党の役割のひとつであると考えております。

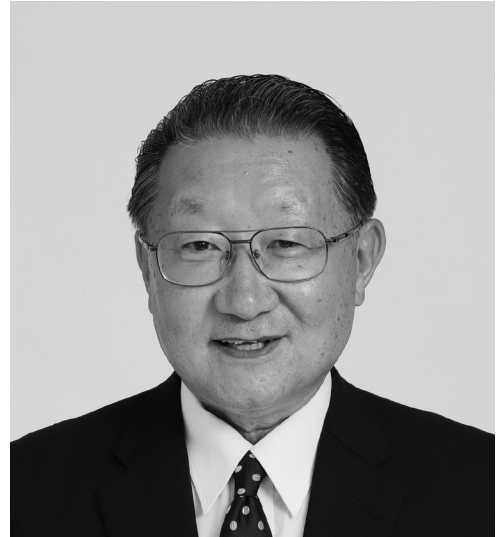
それに限らず、政府与党にも、労働者の権利、働く皆様の生活向上を、そして新型コロナ対策にと皆様の声を日々届けています。このような時だからこそ、力をひとつに、働く皆様の生活向上のため、今後も前へ進んで参る所存でございますので、変わらぬご支持ご支援を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

結びに、新型コロナウイルスが収束し、働く皆様の安心安全がしっかりと確保されるよう全力で持てる力を尽くす決意を新たに、連合和歌山様の今後益々のご発展と、働く仲間の皆様のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げ、連帯のメッセージとさせていただきます。

共に 頑張りましょう。

連合和歌山地方議員団会議議長

県議会議員 長坂 隆司 様



本年も第91回を数える連合和歌山のメーデー和歌山県中央集会の時期がやってまいりました。ところがよもやの新型コロナウイルスによる感染症の世界中への感染拡大、そして日本も政府が「緊急事態宣言」を発出するまでに至り、和歌山県も仁坂知事を先頭に、さっそくこの宣言を受けた、独自の対応策をまとめましたが、その後も刻々と深刻化していく状況に日々鋭意対応いただいております。

2020 春季生活闘争もこれまで堅調な協議・交渉が行われてきたにもかかわらず、現在に至って社会全体がコロナ不況に陥り、決して予断を許しません。本県も「和歌山モデル」と言われる、迅速な判断と徹底した追跡調査によるコロナ対策で、ウィルス流行の抑制にさらに努めて、一生懸命働く者の健康を確保するとともに、冷え込んだまちなかに元気を注入する施策を矢継ぎ早に実践していかなければなりません。メーデーに参加して実際にシュプレヒコールを叫んでいる気持ちになって、労働環境のいっそうの改善と、生きがい・働きがいを実感できる生活の安定を勝ち取るべく、私ども地方議員団もともに闘ってまいること、そして、嘘をついて逃げ回る、国民目線を忘れた政府与党に対し、一丸となって真正面からぶつかって行って、大きな牙城を崩していく一助となることをお誓いして、ごあいさつに代えさせていただきます。ともに頑張りましょう。

事業団体(和歌山県労働者福祉協議会、
労働金庫、こくみん共済 coop)代表

こくみん共済 coop 和歌山推進本部

本部長 杉谷 憲司 様



第 91 回メーデーを迎えるにあたり、労働者自主福祉事業団体を代表して心よりお祝い申し上げます。

日頃は労福協・労働金庫・こくみん共済 coop(全労済)の運動と事業の推進に格段のご支援とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

また、このたびの新型コロナウイルス感染症で影響を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、医療体制や日常生活にも大きな不安と恐怖が広がっています。活動の自粛に伴う経済の停滞は、この先、働く人々にとっても大きな影響が懸念されます。

このような状況下、私共、労働者自主福祉事業団体も事業を通じて働く人々の「安全と安心」を追求していく所存です。

2020 年は、労働金庫誕生 70 周年の節目の年であり、現在、「生活応援運動 2020 年」を展開中です。近畿労働金庫では、少しでも安いローンへの借り換えで可処分所得の向上や自助努力の資産形成のお手伝いを行っています。

金融機関を取り巻く状況は大変厳しいものがありますが、「働く者の金融機関」としての役割を存分に発揮してまいります。

こくみん共済 coop は昨年 6 月、名称を新たにし、組合員・協力団体への「お役立ち発想」と協力団体の皆様との「共通の価値を創造する活動(共創活動)」を展開しています。

また、和歌山推進本部では労済運動発足から昨年 60 年を迎えました。この間培ってきた事業と運動を更に強化・発展させ、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、取り組んでまいります。

困難な時代であるからこそ、私共、労福協・労働金庫・こくみん共済 coop(全労済)は、原点に立ち返り、協同組合として、「助け合い」の輪を結び、広げる活動を連合の皆様方と共にすすめてまいります。

最後になりましたが、連合和歌山の今後益々のご発展と結集する組合員の皆様、ご家族のご多幸を祈念し、祝辞とさせていただきます。

第 91 回和歌山県メーデー宣言（案）

本日、私たちは 100 年目となる 91 回目のメーデーを前例のない形で迎えた。

メーデーは、1886 年に米国の労働者が 1 日 8 時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。日本のメーデーは、1920 年 5 月 2 日に第 1 回が開催された。戦争などで一時禁止に追い込まれたが、第二次世界大戦後メーデーは力強く復活し、働く者の団結と連帯を通じて、労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立などに深く貢献してきた。

そして今年、日本ではじめてメーデーが開催され 100 年の節目を迎える。これを機にメーデーの原点に立ち、果たしてきた役割を振り返り、改めてすべての仲間が団結・連帯することの重要性を確認したい。

世界は今、新型コロナウイルスの恐怖に脅かされている。それは経済や社会、そして雇用に深刻な影響を及ぼしている。しかし、こうした厳しい状況の中にあっても、命と健康を守り、経済を動かし、社会を維持するために懸命に働き続けている方々の存在と頑張りについて、改めて全体で認識し、心からの感謝の気持ちを共有したい。

この間私たちは、新型コロナウイルスの影響で困難な状況に直面している方々に向き合い、その声を受け止めてきた。そして、中央・地方で、政府や行政、政党に対し、感染症拡大抑止を最優先に取り組むことや生活確保・事業継続のための緊急措置など、大胆かつ速やかな緊急対策を求めてきた。

メーデーの精神である、働く者や生活者の立場から、すべての仲間の力を結集して、この極めて厳しく未曾有の難局を乗り越えるために、労働組合としての社会的役割を果たしていかなければならない。

今こそ私たちは、連合本部・近畿ブロック各地方連合会と連携し、このような経験を通じて、私たちが掲げる誰一人取り残されることのない公正な社会の実現、平和・人権・環境が守られ、誰もが笑顔のあふれる未来を構築できるよう全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2020 年 4 月 26 日

第 91 回メーデー和歌山県中央実行委員会
有田・御坊日高地域協議会メーデー実行委員会
田辺・西牟婁メーデー実行委員会
新宮・東牟婁メーデー実行委員会
連合和歌山紀北地方メーデー実行委員会

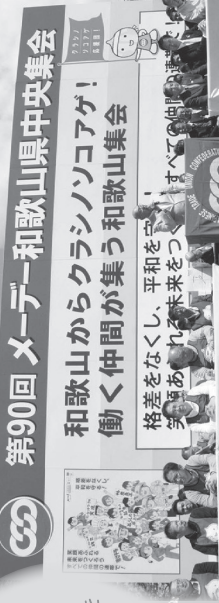
連合和歌山から お知らせ!

30
連合

1

「第91回メーデー
和歌山県中央集会」は、
本日4月26日(日)に
例年通りの規模で開催を
予定してまいりました。

第90回メーデー和歌山県中央集会の様子



2

残念ながら、
「新型コロナウイルス感染症」
の感染拡大により
デモ行進、武典・
イベントなどの中央集会を
中止しました。

3

「労働者の祭典メーデー」は、
1886年5月1日に
アメリカのシカゴではじまり、
日本においても
今年100年という
節目の年だっただけに、
非常に残念です。

4

来年こそ、「第92回メーデー
和歌山県中央集会」が、
皆様とともに開催できるよう、
今一ひとりが「やれる事」・
「やらなければならない事」を
全力で実践していきましょう。

新型コロナウイルス感染症に関するお願い

新型コロナウイルスは、無症状者が50%

「いつ」・「どこで」・「誰が」発症してもおかしくない!

- ✓ 「三密(密閉・密集・密接)」は徹底的に避ける。
- ✓ 不要・不慮な外出は控える。
- ✓ 体調に違和感(咳・喉の痛み・くしゃみ・鼻水・下痢・吐き気)があれば自宅待機し、各相談機関(県庁・保健所)に連絡する。
- ✓ 最前線に必死に頑張っている医療関係者とその家族や感染者への差別は絶対しない。



連合和歌山 (日本労働組合総連合会和歌山県連合会)

住所：和歌山市北島1丁目5-46 和歌山県労働センター4階 電話：0120-154-052

いごま けんご

和歌山県から県民の皆様へお願い!

1. 外出の自粛等について

- 「3つの密」が重なるような場所への外出の自粛をお願いします。
特に、繁華街の接客を伴う飲食店等への外出の自粛について、強く要請します。
- 咳や発熱などの症状がある場合は、通勤等であっても、決して無理をして外出せず、まずは最寄りの保健所または県庁健康推進課にご連絡ください。
- 生活用品の買い出しなど生活維持のための外出についても、必要最低限の人数で行うなど、できる限り人と人との接触機会を少なくするようお願いいたします。
- 対象区域[※]への往来自粛については、以下のことについて特に留意してください。
・対象区域への往来自粛であっても、医療機関と相談の上、直接受診を減らすなどの工夫を行い、できる限り、特に、都市部や歓楽街など人混みが多く、感染リスクが高いと思われる場所への往来については強く自粛を要請します。
- その他一般的に、外出については、必要性をよく考え、先送りできるのであれば自粛をお願いします。

2. 緊急事態措置すべき区域から帰省・転勤された方について

現在、2週間の自宅待機とともに、「県庁帰国者・帰省者・転勤者連絡ダイヤル」への連絡をお願いしておりますが、ご近所で、対象区域[※]から帰省や転勤された方がいらっしゃる場合は、このことについてお伝えし、登録をお勧めしてください。
その際、それが難しい場合は、直接、連絡ダイヤルにお知らせいただいても結構です。
(連絡ダイヤル) TEL: 073-441-2170 FAX: 073-431-1800

※対象区域…5月6日(水)までの間、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・大阪府・兵庫県・福岡県が公
示されています。(4月7日 現在)

事業団体からのお知らせ!

近畿ろうきんは
がんばるあなたの生活応援バンクです。

新型コロナウイルス
終息に向けて共に
がんばりましょう。

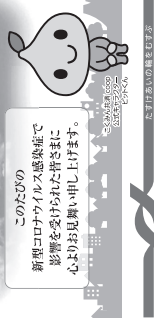


はたらくあなたの、
いちばんそばに。



こくみん共済
NETS
16162203

私たちは「共済」を
通じて人と人との
「たすけあいの輪」をむすび、
「安心のネットワーク」を
ひろげていきます。



こくみん共済 (全労済) 和歌山推進本部
和歌山県労働者福祉協議会

https://wakayama-rofukukyo.com
TEL 073-422-7039



公益社団法人 和歌山県労働者福祉協議会
https://wakayama-rofukukyo.com
TEL 073-422-7039

▲4月26日(日)に実施する新聞折り込みの内容